

## 7

## テクノ/エレクトロニカ

シンセサイザー、リズムマシンなどの登場により進化した電子音楽。1970年代後半～80年代前半のテクノ・ポップから、80年代後半～90年代のテクノやハウス・ミュージック、90年代中盤からのエレクトロニカなど、新しいムーブメントが次々に起きています。現在もさまざまな技術、実験、アイデアが取り入れられ、ほかのジャンルへ影響をおよぼすまでになっています。App Storeの音楽アプリの中でも、テクノやエレクトロニカを制作できる電子楽器をシミュレートしたアプリは数多く注目を集めており、大手楽器メーカーの参入もあって、機能も充実してきました。シンセサイザー、シーケンサー、サンプラー、エフェクターなど通りの機能を持ち、1つのアプリだけで音楽制作ができるDAW系のアプリも登場しています。

## ● Reference Albums

## クラフトワーク

The Mix



ドイツが生んだテクノ・ミュージックのオリジネーター。ライブで演奏されている代表曲のセルフ・リミックス盤が1991年に発表された。研ぎ澄まされた音色やミックスから、リーダーであるラルフ・ヒュッターの音職人ぶりが伺える。2009年のリマスター盤はジャケットが変更となった。

## ラリ・プナ

Faking The Books



キーボードとヴォーカルの紅一点、韓国ヴァレリー・トレベルヤーを中心とするミュンヘン出身4人組。シューゲイザー的アプローチを見せた2004年の3rdアルバムは繊細で良質なエレクトロニカとインディー・ロックとの美しい調和である。高橋幸宏「Page By Page」にも参加している。

## エイフェックス・ツイン

Richard D. James Album



90年代のテクノシーンに衝撃を走らせたAPEX TWINのアルバム。RICHARD D. JAMESは本名。軽快で高速なドラムベースにストリングスが交差する。童話の世界に迷い込んでしまったようなメロディーが印象的で聴きやすいアルバムだが、ジャケットのような狂気が隠れている。

## ダフト・パンク

Discovery



フランスのエレクトロ・デュオの2ndアルバム。さまざまな音楽ジャンルを消化して、骨太なエレクトロ・サウンドと印象的なロボット・ボイスでポップなダンス・チューンを奏で、2000年代の幕開けを感じさせた。日本盤はメンバーの依頼により、松本零士がアートワークを担当した。

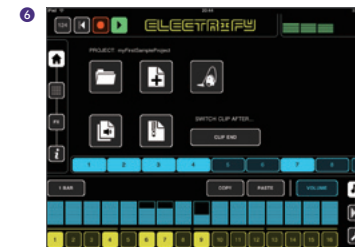
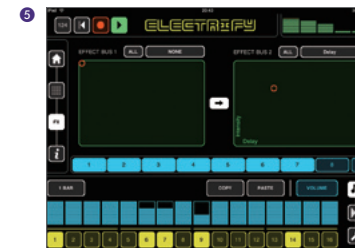
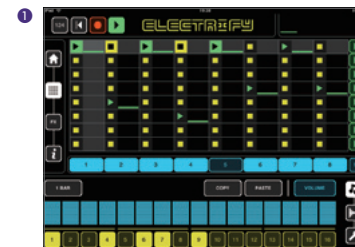


プロ仕様サンプルを600種類収録！ サンプル・ベースのグルーヴ・ボックス

## ELECTRIFY

iPhone touch iPad Univ. ▶ ¥1,700 | Ingolf Koch

テクノ、エレクトロニカ、ヒップホップなどのダンス・トラックの制作に適したバーチャル・グルーヴ・ボックス・アプリです。600種類のプロ用サンプルを組み合わせ、8トラックのシーケンサー、8種類のエフェクト、7つのパラメーターをシンプルなUIでリアルタイムに操作します。ループ・パターン切り替えやX/Yコントローラーを使ったエフェクト操作でライブ感のある演奏ができます。PCやMacでAbleton Liveを使用している人にもおススメのアプリです。



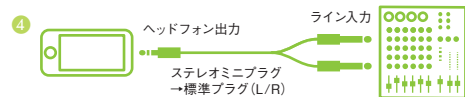
- 16ステップ、8BARのステップ・シーケンサーで打ち込みはとて簡単です。ボリューム、パン、ピッチなど7つのパラメーターも各ステップごとに調整ができます。
- 600種類のプロ用サンプルが収録されているので、すぐにカッコいいループ・トラックが作成できます。もちろんサンプルのインポートも可能です(iTunesのファイル共有機能を使用)。
- 読み込んだサンプルの再生位置などを編集できます。エレクトロニカ等でよく使われるリバース再生にも対応しています。
- トラック・セッティング画面では、X/YコントローラーでのHI/

- LOW PASS FILTERの調整、2チャンネルのエフェクトBUSの設定やエフェクトSEND、ジャッフルの設定が可能です。
- エフェクトは、BPM SYNC DELAYやFLANGER、REVERB、PHASER、BAND PASS FILTERなど8種類。X/Yコントローラーによる自由自在な操作が気持ちのよいグルーヴを生み出します。
  - 作成したループ・トラックは保存してWAVで書き出したり、クリップボードにコピーできます。インポート、エクスポートの操作はiTunesのファイル共有機能を使用するので簡単です。

ブレッサーやリミッターなどのエフェクトを使って、音質と音圧を調整する作業です。自作のCD-Rが市販CDより音量が小さく聴こえてしまったり、曲ごとにレベルが不揃いだったりするのは、マスタリングがうまく行われていないことが原因です。マスタリングは本1冊になるくらい奥深い世界でもあり、詳しくは述べませんが、PC/Mac上でも作業が可能です。マスタリング専用ソフトもありますが、VSTに対応するソフト上で、マスタリング用のVSTプラグイン・エフェクトを用いることが多いです。

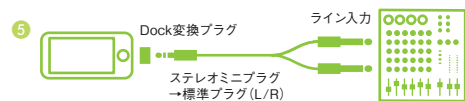
### セッションやライブをするには

ここまでは、主にPC/Macでの音楽データの取り扱いを中心に述べてきましたが、シンプルにiPhone/iPod touch/iPadを使ってセッションしたり、ライブで音を出したりするにはどのようにすればよいのでしょうか。



iPhone/iPod touch/iPadヘッドフォン出力を複数の入力端子を持つミキサーにつなげば、一度に複数の音を同時に出力することができるので、仲間とのセッションが可能になります。

なお、ミキサーの種類にもよりますが、ミキサーへの入力は標準プラグが一般的なもので、使用するケーブルは一方がステレオミニプラグ(3.5mm)、もう一方はモノラル標準プラグがL(左)とR(右)に分かれたものを用意します。自宅でミキサーからの出音を確認するには、ステレオ・コンボへの接続か、もしくはパワード・スピーカーがあればよいでしょう。



Dock出力による音質重視の上級者向けのセッティングです。ボリュームの調整は、ミキサーで行います。

なお、ライブハウス、クラブなどでの演奏の際は、事前に会場に対して演奏の際のセッティング図を提出するのが一般的です。会場側の入力は、モノラル標準プラグのLとRであることが多いので、iPhone/iPod touch/iPadからの出力が、最終的にそのようになるように準備をしておきましょう。

### VSTプラグイン

VSTはVirtual Studio Technologyの略で、ドイツSteinberg社が開発した、PC/Macでの音楽制作ソフト用の規格。VSTプラグインはエフェクトであり、さまざまな種類のものが発売、もしくはフリーで配布されている。Windows版とMac版がある。

### ミキサー

マイクや楽器の音をミックスする機材。入力数や端子の種類などによって、さまざまな製品がある。USBオーディオ・インターフェースを装備したミキサーや、簡易ミキサーとして使用できる製品もある(P.124参照)。



### 標準プラグ

電気楽器の入出力によく使われているプラグ。上の写真は、ステレオミニプラグ(3.5mm)と2本のモノラル標準プラグがつながったケーブル。標準プラグの白がL(左)チャンネル、赤がR(右)チャンネル。



### パワード・スピーカー

アンプが内蔵されており、ミキサーや楽器、PC/Macなどと接続して音を出せる。アクティブ・スピーカーともいう。機種により、入力端子が異なるので、要注意。音楽制作用のモニター・スピーカーとしては、FOSTEX「PM0.4n」(写真、他カラーあり)、YAMAHA「MSP3」「HS50M」などが入門クラスだろう。



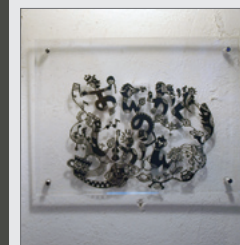
## “iPhone・iPad Music App Blog” presents PALM GROOVE VOL.1

2010.07.03 @おんがくのじかん

iPhone・iPad Music App Blog主催のイベント「PALM GROOVE VOL.1」が、三鷹市「おんがくのじかん」で開催されました。iPhoneやiPod touch、iPadによる音楽イベントの第1回目でしたが、告知2日後に前売りチケット分の予約は締め切られました。大きなプロモーションはなかったにもかかわらず、注目が集まっていたようです。

ライブの様子はUSTREAMで生中継され、視聴者のツイートに応じて、出演者によるアプリ説明が行われるなど、大いに盛り上がりました。LAP TOPを経過したPALM TOP MUSICという存在が、優秀な音楽アプリのおかげで現実的になったことを実感できた夜でした。

次ページからは、出演者の紹介と使用アプリをレポートしていきます。音楽アプリのチョイスは各出演者によってさまざま。純粋に楽器として使用したり、また効果音的な音源として使用したりなど、おのおの個性が表れています。新しいサウンドをクリエイティブできるヒントが見つかるかもしれません。要チェックです！



### おんがくのじかん

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-32-4  
グリーンバルコB1  
TEL/FAX 0422-43-5172  
<http://bar.towntone.com/>

ギター、ベースのエフェクター・アプリ利用には  
必須アイテム!

## IK Multimedia / iRig

iPhone touch iPad

AmpliTubeなどのエフェクター・アプリ、チューナー・アプリ使用時に、ギター、ベースをiPhone/iPadのヘッドホン/マイク端子に接続するためのインターフェースが「iRig」です。ギター・シールドを入力端子に接続し、出力にはステレオ・ミニジャックを装備。ヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーをつないでモニターしたり、プラグを変換すればギターアンプに出力できます。これさえあれば、自宅やスタジオでのギター練習のモニタリングがOK。iPhone/iPadユーザーのギタリストは持っていても損はありません! 参考価格: ¥4,830  
メディア・インテグレーション <http://www.minet.jp/irig>  
☎ 03-3477-1493



ギタリストのように楽器アプリを演奏できる  
ミュージックアダプター

## EVENNO / The Fingerist

iPhone touch iPad

Fingerist (TR-FLGT-WD)はiPhone/iPod touch用のミュージック・アダプターです。専用ケースにはめ込みFingeristに装着するだけで、エレキギターを演奏するような感覚で楽器アプリをプレイすることができます。単三電池3本で6時間駆動するスピーカーを内蔵。さらにギター・シールドをつなげるライン・アウトがあるので、スタジオやライブハウスのアンプやミキサーにつながります。ギター・ストラップを装着でき、立っての演奏も可能。ライブで使用すれば注目を浴びること間違いなし!  
参考価格: ¥14,800  
トリニティ <http://www.evenno.com/> ☎ 048-299-3433



iPhoneに対応できる  
唯一のMIDIインターフェース  
Line 6 / MIDI Mobilizer

iPhone touch iPad

iPhone/iPod touchに接続して、無償で提供されているアプリ「MIDI Memo Recorder」を使用すれば、MIDIデータのレコーディングと再生を行うことができます。スタンダードMIDIファイル(SMF)をメールに添付して送ったり、Wi-Fi経由でMIDIメモにアクセスすることも可能。フレーズを思い立ったときにすばやくデータとしてメモしておくのにも便利です。メーカーからSDKが公開されており、今後さまざまな対応アプリがリリースされることが期待されます。参考価格: ¥7,900  
ティアック <http://www.line6.jp> ☎ 0120-152-854

ポケットに入るマイクで、どこでも高音質録音!

## Logitech / LIC-iREC03P

iPhone touch iPad

Dockコネクタに接続するタイプの高音質指向性ステレオマイク。ステレオX-Y方式で人の耳で聴く感覚に近い、臨場感のある音を録音できます。入力レベルを調整するアッテネーター、オート・ゲイン・コントロールを搭載しているので、ライブやスタジオでのハイ・レベルな録音にも対応。さらにライン入力端子も備えているので、iPhone/iPod touchに機材をつなげてのライン録音もできます。サンプラー・アプリやDAWアプリを使用している人におすすめです。※iPhone 4、iPadには非対応。参考価格: ¥7,980  
ロジテック <http://www.logitech.co.jp/> ☎ 0570-022-022

